

平成26年度 一般会計事業報告

葛城市社会福祉協議会は、地域福祉活動推進の中核的役割を果たすために微力ではありますが、各種の福祉事業を実施してきました。以下、平成26年度一般会計の主な事業内容について報告します。

1. 広報活動事業

広報誌【ゆうあい通信】を年6回発行し、ホームページにおいても当会の活動等を掲載し、PRに努めました。

2. 福祉基金

当会の長期的な運営の安定化を図るため、平成26年度は38件、総額1,878,691円の寄附金をいただきました。

3. 葛城市福祉総合ステーションの指定管理事業

多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、計画的な事業推進を行うとともに、自主・自立的な経営基盤の強化を図りました。

○施設利用状況

(単位：人)

	入場者数	プール	浴室	カラオケ	パターゴルフ	卓球
平成26年4月	10,315	3,828	5,301	33	111	990
5月	10,823	4,675	5,842	56	62	990
6月	10,202	5,673	5,665	53	39	851
7月	10,885	6,091	5,806	56	41	1,006
8月	14,060	6,485	6,345	78	51	1,301
9月	10,386	4,868	5,311	27	69	933
10月	10,459	4,533	5,379	27	35	688
11月	9,888	3,931	5,235	42	61	765
12月	8,185	2,892	4,443	31	19	501
平成27年1月	9,444	3,587	5,118	47	32	735
2月	10,261	3,901	5,655	31	37	927
3月	11,680	4,204	5,927	18	80	1,265
合計	126,588	54,668	66,027	499	637	10,952

○売上状況

(単位：円)

	各施設利用券売機売上	各種教室利用料	食堂売上	マッサージ機・自販機関係	その他	合計
平成26年4月	1,805,080	1,115,630	1,586,230	197,490	48,000	4,752,430
5月	1,995,280	1,497,180	1,775,835	43,000	48,000	5,359,295
6月	2,063,000	1,806,300	1,380,594	45,630	48,000	5,343,524
7月	2,207,140	1,500,250	1,670,390	46,460	49,000	5,473,240
8月	2,203,720	914,970	2,954,538	55,370	617,700	6,746,298
9月	1,819,100	1,495,710	1,513,930	35,590	51,000	4,915,330
10月	1,801,280	1,606,080	1,304,920	38,250	51,000	4,801,530
11月	1,693,520	1,432,790	1,324,060	20,890	52,000	4,523,260
12月	1,370,980	941,890	1,241,140	39,750	51,000	3,644,760
平成27年1月	1,626,010	1,311,590	1,464,780	30,410	52,000	4,484,790
2月	1,719,410	1,358,670	1,209,180	34,390	50,000	4,371,650
3月	1,905,920	1,382,820	1,693,610	39,980	53,200	5,075,530
合計	22,210,440	16,363,880	19,119,207	627,210	1,170,900	59,491,637

○水泳教室等参加状況

教室名	開催回数	参加人数
水泳教室（成人クラス）	114回	834名
水泳教室（小学生クラス）	386回	14,702名
水泳教室（幼児、2・3才児クラス）	580回	7,251名
水泳教室（障がい児クラス）	33回	45名
短期水泳教室	113回	2,292名
水中シェイプアップ教室	32回	661名
水中ウォーキング教室	32回	206名
エアロビクス	95回	1,279名

4. 福祉推進事業

○ふれあい・いきいきサロン助成事業

住民のだれもが気軽に集い地域住民が主体となって自主的に運営する「ふれあい・いきいきサロン」21団体に対し630,000円を助成しました。

○日常生活用具貸出事業

市内在住の寝たきり高齢者、ひとり暮らし高齢者及び重度身体障害者等131名の方に、車椅子、療養ベッドなどの介護機器を146点貸し出しました。

○病没家庭児童・交通遺児等激励金支給事業

市内在住で、平成26年度中に疾病や負傷等により、父又は母等が死亡した18歳未満の児童の健全な育成を図るため、4世帯に激励金80,000円を支給しました。

○火災見舞金交付事業

市内在住の火災により罹災された世帯はありませんでした。

○各種カルチャー教室の開催

市内在住の方を対象に、生きがいと健康づくりを目的とした各種教室を開催いたしました。

陶芸教室	4コース開催	延べ	266名	※1コース 5回開催
社交ダンス教室	21回開催	延べ	172名	
太極拳教室	31回開催	延べ	241名	
夏休み子ども工作教室	2回開催	延べ	42名	

○『人権・行政・心配ごと相談』の開設

毎月、第2木曜日は新庄庁舎、第3木曜日は忍海集会所、第4木曜日は當麻文化会館において、人権擁護委員、行政相談員、民生児童委員の方々を相談員として、人権・行政・心配ごと相談を実施しました。相談件数は51件ありました。

○葛城市社会福祉大会の開催

社会福祉関係者が一堂に会し、さらなる地域福祉活動の推進を図り、あわせて社会福祉の発展に功績のあった方々に敬意を表すため、平成26年12月13日に葛城市福祉総合ステーションにて第11回葛城市社会福祉大会を開催しました。

○福祉施設協働事業（世代間交流会）

浄正院保育園、華表保育園、はじかみ保育所、新庄北幼稚園、葛城市立當麻第1保育所、葛城市立磐城第1保育所、葛城市立磐城第2保育所、葛城市立當麻幼稚園の園児、延べ520名が計17回、葛城市社会福祉協議会指定通所介護事業所、当麻園、ウォームヴィラ新庄園、介護老人保健施設「かつらぎ」、グループホーム悠久の里、憩い空間ともデイサービスセンターの利用者と楽しい時間を過ごしました。

5. 市内ボランティア団体の活動

○葛城市ボランティア連絡協議会

当会と共同して小学生体験学習、ボランティア衛生管理講習会などを開催し、ボランティアの育成や福祉教育の推進を図っていただきました。

○ふたば会

登録者150名により、ひとり暮らし高齢者配食サービス（まごころ弁当）や、福祉施設入所高齢者等に対して慰問及び慰問品の作製など、地域で活動をしていただきました。

○日赤奉仕団

登録者36名により、地域での防災活動など赤十字活動を推進していただきました。

○ゆうフレンズ会

登録者246名により、デイサービス利用者の介護補助、ゆうあいステーションの環境美化、受付業務、食堂での片付けの補助等のほか、生花、洋裁等の技術提供のボランティア活動をしていただきました。

○手話サークル友情

登録者36名により、手話の学習会、高齢者との交流会、社会福祉施設等への訪問など、地域で活動をしていただきました。

○健康づくり推進員協議会

登録者71名により、市内保育所（園）・幼稚園での健康教室、特定健診のPRなど地域で活動をしていただきました。

6. いきいきヘルスの集い事業

60歳以上の高齢者を対象に、生きがいづくりや健康づくりの増進を図るため、平成26年4月25日から平成27年2月6日まで計22回「いきいきヘルスの集い」を開催し、各地域別にゆうあいステーションに集まってお楽しみいただき、運動指導士による介護予防教室、会食、施設利用、カラオケ大会、演芸等を開催し、1,096名の参加者がありました。

7. ひとり暮らし高齢者配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者を対象に平成26年4月2日から平成27年3月19日の間に計24回、延べ1,505名の方にまごころ弁当を提供しました。

また、ひとり暮らし高齢者一日招待を平成26年11月14日に開催し、26名の方が参加され、ボランティアふたば会の演芸などを楽しまれました。

8. 誰でもできる水中運動教室事業

高齢者の生活機能の維持及び向上を図ることを目的に3クール計32回開催し、延べ549名の参加がありました。

9. 運動指導教室事業

要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の葛城市二次予防事業の対象者に、閉じこもりや虚弱な方の生活機能の向上を図ることを目的に2コース計30回開催し、延べ355名の参加がありました。

10. 認知症予防教室事業

要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の葛城市二次予防事業の対象者に、要介護にならないようレクリエーションや脳トレーニング等を行うことを目的に、計20回開催し、延べ236名の参加がありました。

1.1. 家族介護教室事業

家族介護者、ヘルパー、ボランティア等の方を対象に、介護する上での知識、技術、注意点等を学んでいただき、実際の介護に役立てていただけるよう、教室を新庄地区、當麻地区で2回開催し、延べ16名の参加がありました。

1.2. 家族介護交流会事業

要介護状態の介護者を在宅で介護している家族の身体的・精神的な負担を軽減していただけるよう平成26年11月10日開催し、25名の参加がありました。

1.3. 居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所では、介護支援専門員によって個々の利用者の心身の状況、生活環境を把握し、利用者が日常生活を継続していく上で解決すべき課題の分析を行い、適切な保健・医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようコーディネートし、利用者の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資するようサービスを提供しました。

○介護保険（要介護認定、要支援認定）申請代行

要介護者やその家族に代わり介護保険（要介護認定、要支援認定）申請の代行を行いました。

○介護保険（要介護認定、要支援認定）申請者の訪問調査

葛城市からの委託による介護保険要介護認定に係る訪問調査を161件、他市町村（上北山村、羽曳野市、枚方市、奈良市、大阪市）からの委託による介護保険要介護認定に係る訪問調査を5件、合計166件行いました。

○要介護認定者及び要支援認定者のケアプラン作成

要介護認定者 延1,497名、要支援認定者 延 493名に対してケアプランを作成しました。

1.4. 指定訪問介護（介護予防訪問介護）事業所

指定訪問介護（介護予防訪問介護）事業所では、利用者の日常生活全般の状況及び家族の希望を踏まえて、常に利用者の人格を尊重し、利用者の立場に立って当該目標を達成するための身体介護・生活援助のサービス（訪問介護サービス事業）の提供を行いました。

○利用状況

要介護認定者	延 376名	利用回数	延 8,229回	利用時間	延7,397時間45分
要支援認定者	延 573名	利用回数	延 3,547回	利用時間	延3,525時間15分

1.5. 指定通所介護（介護予防通所介護）事業所

指定通所介護（介護予防通所介護）事業所では、利用者が可能な限りその居宅において、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、日常生活上の動作訓練及び世話等の援助を行い、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の身体的、精神的負担の軽減を図るサービスを提供しました。

○利用状況

要介護認定者	延 432名	利用回数	延 3,647回
要支援認定者	延 102名	利用回数	延 748回